

今号の主な記事

- 2面 地域防災計画(平成21年度修正)(案)への意見募集
- 3面 新型インフルエンザのワクチンを接種された方へ
- 4面 新春企画 年男・年女、消防団員募集のお知らせ
- ホームページ <http://www.city.fussa.tokyo.jp/>

福生市は今年で市制施行40周年を迎えます

市制施行40周年



第一小学校の子どもたちが市制施行をパネルで祝う (第一小学校校庭)



市役所の入口に建てられた記念塔と「市役所」を表す案内を設置 (市役所旧庁舎)

福生市は昭和45年(1970)7月1日、人口3万8,749人で市制を施行しました。当時の石川常太郎町長(初代市長)は、住民の念願であった「3万市制」実現のための法整備実現に尽力し、法改正後、東京で初めての市制施行で「福生市」が誕生しました。そして今年、福生市は節目の市制施行40周年を迎えます。「町」から「市」へと大きな変化を遂げた当時の様子を、写真で振り返ります。

40年前の昭和45年(1970)はこんな年

- ★日本初の人工衛星「おおすみ」打ち上げ成功
- ★大阪で日本万国博覧会開幕
- ★日本人がエベレスト初登頂に成功
- ★政府が日本を「にっぽん」の呼び名に統一
- ★東京で歩行者天国始まる



歴史の古い多摩橋も現在の橋は昭和45年に架けられた (多摩橋開通式)



「歩行者天国」の始まりも昭和45年から※現在は未実施 (福生駅前通り)



昭和45年ごろは市内にも多くの田んぼが存在 (田園地区の田んぼ)



八高線の蒸気機関車も昭和45年に引退した (東福生駅に停車する特別列車)

SPコードを掲載しています!

目の不自由な方の情報ツールとして開発された二次元シンボル「SPコード」(下図参照)を、広報ふっさ紙面に掲載しています。SPコードは、専用読取装置を使うことで、コードに記録されている文字情報を音声で聞くことができます。

毎月1日号の奇数面の記事をそれぞれ抜粋してコード化し、触って位置がわかるように半円状の切り込みを入れています。

問合せ秘書広報課広報広聴係 ☎551・1568

「40周年」から新たな10年へ...

福生市は平成22年度から第4期総合計画をスタートさせます。10年間のまちづくりの目標や都市像などを定めた基本構想を推進するための基本計画を策定し、市民の皆さんとともに新たなまちづくりを進めていきます。

(広報ふっさ1月15日号で基本計画の市民意見を募集します。)

さて、福生市では平成22年度から、第4期総合計画がスタートいたします。「このまちが好き 夢かなうまち 福生」を目指すべきまちの都市像とし、「希望に満ちた明るいひとづくり」「だれにもやさしい安全なまちづくり」「潤いのある豊かな暮らしづくり」「安心に満ちたまちづくり」「活力とにぎわいのあるまちづくり」とともに助け合うまちづくり、「市民と行政がともに進めるまちづくり」という、7つの項目をまちづくりの目標に定めています。

また、本年は、福生市が昭和45年に市制を施行してから、40周年を迎えます。記念式典はもちろんのこと、第60回福生七夕まつりを始めとした、様々なイベントを企画しておりますので、皆様、ぜひご参加ください。

この一年の皆様のご健康とご多幸を心からお祈りいたしますとともに、市政への一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

年頭に当たって

市長 加藤育男



あけましておめでとうございます。市民の皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。一昨年の5月に福生市長に就任以来、早いもので2回目のお正月を迎えることができました。

この間、いわゆる「リーマン・ショック」や「ドバイ・ショック」による世界的な金融恐慌が起こり、我が国も様々な分野での企業活動の縮小・人員整理等、大変な影響があり、先行きが不透明な状況となっております。

国内においては、昨年の9月に民主党を中心とする政権が誕生いたしました。前政権の組んだ補正予算の一部執行停止や、事業仕分け等で来年度の予算の見直しが行なわれました。廃止や縮小とされた事業の中には、福生市に少なからず影響を与えるものもあると思われ、直接市民の皆様と相対し、運営していく市政には、一瞬の停滞も許されません。